



上田市日本遺産絵本・かるた制作概要

1 制作経過

令和 2 年 6 月に文化庁から認定された上田市の日本遺産「レイラインがつなぐ太陽と大地の聖地」～龍と生きるまち信州上田・塩田平～」の普及啓発に向けた取組の一環として、市内住民団体や長野大学などと連携し、上田市の日本遺産を紹介する絵本やかるたを制作した。

2 制作概要

(1) 絵本について

ア 名称 「おひさまはみている～塩田平のため池と龍神さま～」

イ 制作者：絵 堀内稔氏（塩田在住画家）、文 かがいみえこ氏（塩田在住童話作家）

ウ 制作概要

上田市の日本遺産に登場するストーリーや構成文化財のほか、塩田平のため池と雨乞いにまつわる言い伝えをもとに作成したもの（全 32 P）

エ 協力団体 塩田まちづくり協議会、塩田平ため池を愛する会、ヤマンバの会ほか

(2) かるたについて

ア 名称 「信州上田・塩田平かるた」

イ 制作者 塩田まちづくり協議会教育文化部会

ウ 制作概要

上田市の日本遺産認定を機に、先人が遺してくれた地域の魅力ある文化を後世に伝えるため、塩田地域の小学校と連携し、上田市の日本遺産に登場する構成文化財（歴史・文化・自然・風土・伝統行事・民話）を題材とし作成したもの

エ 制作経過

①「かるた句」の募集は、令和 2 年度塩田中学校 1 年生、塩田地区小学校 4・5・6 年生及び保護者を対象とした。

②「かるた」絵札・読み札のデザインは長野大学、かるたマップ制作は塩田まちづくり協議会教育文化部会が中心となり、制作した。

オ 協力団体 長野大学、MINWA プロジェクト他

3 主催

上田市日本遺産推進協議会

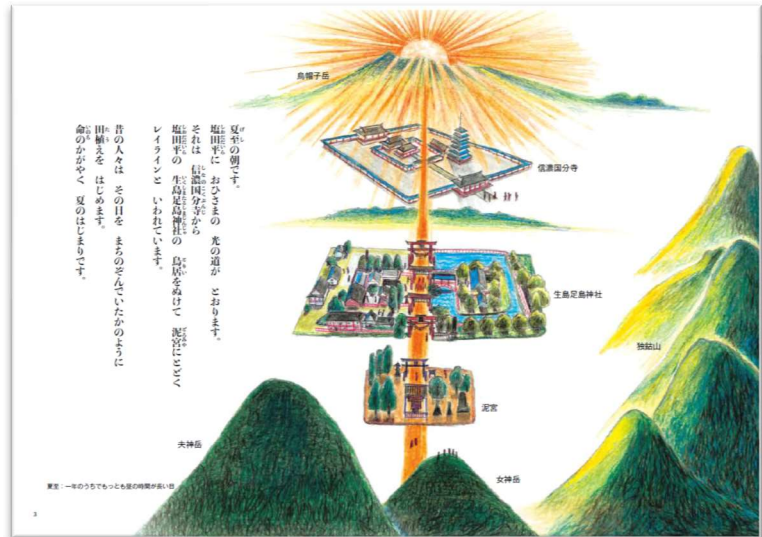
4 今後の展開

(1) 2 月 13 日「日本遺産の日」に合わせ、絵本・かるたの披露及び朗読会等を行う。

(2) 絵本及びかるたは、市立の保育園や小学校に加え、図書館や公民館などへ配布予定。



絵本表紙



絵本 中面

かるた絵札



読み札

あ いけ
かるたのお題 **ため池**

雨を乞う 塩田の祈り ため池に
People in Shioda pray for rain around reservoirs / ponds called Tame-ike

雨が少ない塩田平は、昔の人が知恵と努力を出したくさんのため池を作ったので、今では、「日本ため池 100選」に選ばれている。



い こうだ いけ
かるたのお題 **甲田池**

いたずらな かっぱの伝説 甲田池
Legends of Kappa, a playful river imp in Kouda-ike Pond

その昔、甲田池で、いたずらな河童が村人に捕まって命乞いをした際、許してあげたお礼に御膳を貸してくれたという伝説がある。



う いくしまたるしまじんじゃ
かるたのお題 **生島足島神社**

美しい 朱色に輝く 生島さん
Gleaming in vermillion is the Ikushima-Tarushima Shrine

平安時代以前からの古社で土を御神体とし、生島神と足島神を祀る。夏至の日の出、冬至の日没の光が参道に沿って延びる。

日本遺産の日イベントについて

1 目的

文化庁は平成 27 年度に認定した日本遺産の普及を図るため、2 月 13 日を日本遺産の日と位置付けている。令和 2 年 6 月に認定された「レイラインがつなぐ太陽と大地の聖地」～龍と生きるまち信州上田・塩田平～の PR に向けて、大学・住民団体や上田市観光大使等と連携した絵本の朗読会やかるた大会等を通じ、地域の歴史や文化財の魅力に触れていただく機会の創出と普及啓発に努めていく。

2 日時

令和 4 年 2 月 13 日（日） 13 時 00 分から 15 時 00 分まで

3 場所

塩田公民館（大ホール：①絵本読み聞かせ、②民話朗読、第 3 学習室：③かるた）

4 主催

上田市日本遺産推進協議会

5 日程及び内容

【プレイベント（大会議室）】

13:00 開会、市長あいさつ

13:05 日本遺産と塩田平に伝わるかるた、絵本制作者によるトークセッション

【テーマ案】オリジナルかるた・絵本制作に対する想いと今後の事業展開

【コーディネーター】長野大学古田教授

【出演：制作者、塩田まちづくり協議会教育文化部会、ため池を愛する会、長野大学、MINWA プロジェクト、月影瞳さん他】

【メインイベント（大会議室、第 3 学習室）】

13:40 絵本朗読会（大会議室）

【読み手：絵本 月影瞳氏（上田市観光大使）】

14:00 かるた大会（第 3 会議室 / 司会進行：長野大学古田ゼミ生）

15:00 閉会

6 対象

トークセッションはどなたでも。絵本朗読会・かるた大会は親子 30 組（事前申込制）

7 募集方法

- ・上田市日本遺産推進協議会のホームページ、SNS (FB、Twitter)
- ・広報うえだ（1 月 16 日号）、プレスリリース、PR チラシほか

8 その他

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、基準に基づく来場者の間隔配置やマスク着用を呼びかける等十分な対策を行う。
- ・日本遺産のかるた及び絵本は、令和 3 年度文化庁文化芸術振興費補助金で制作
- ・長野大学との連携により、学生らに当日の司会進行やかるた対応を協力いただく予定。

【参考資料】

○日本遺産とは

文化庁が平成 27 年度から認定した、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを示します。有形・無形の様々な文化財群を総合的に整備・活用し、国内外へその魅力を発信することで、地域の活性化を図ることを目指しています。

○日本遺産の日とは

文化庁及び日本遺産連盟（※1）は、国民の皆様の日本遺産に対する理解と関心を高めることを目的として、2月13日（※2、3）を「日本遺産（4）の日」とすることにしています。

（※1）日本遺産連盟は、全国各地の日本遺産認定地域等から構成する団体であり、日本全国に点在する日本遺産のストーリーを国内外に向けて積極的に情報発信するなど、文化庁等とも連携しながら日本遺産のブランド力向上を図ることを目的に設立された団体

（※2）日本遺産は、地域の活性化として観光振興を推進することも主な目的としていることから、ゴールデンウィークや夏休みの旅行先の候補選別に宣伝効果の高い時期である2月に絞り、親しみやすさ、覚えやすさから「にほん（2）いさん（13）」としました。

（※3）2月13日に開催されるシンポジウムの時期に合わせ、日本遺産認定地域によるPRブースや体験ブースの出展を一定期間開催することにより、日本遺産の魅力を広く発信することとしている。

（※4）日本遺産については、令和3年3月31日現在、104件の認定団体を認定。文化庁が令和2年12月に日本遺産認定取消制度を創設したことから、日本遺産フォローアップ評価委員会の審査により、取組が進んでいない地域は取消されるケースがある。

評価対象は認定後5年経過した団体を示します。